



第75期 上期ビジネスレポート

2022年4月1日 >>> 2022年9月30日



綜研化学株式会社

証券コード：4972

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに、当社第75期第2四半期連結累計期間
(2022年4月1日から2022年9月30日まで)のビジネス
レポートをお届けし、当社グループの事業概況をご報告
申し上げます。

2022年11月
代表取締役社長 **福田 純一郎**



●第75期第2四半期(上期)の事業概況

上期の経済情勢は、行動制限緩和によるコロナ禍からの持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の悪化・長期化や中国での新型コロナウイルス感染症対策の継続などに伴う、資源価格をはじめとする世界的な物価上昇の深

刻化にくわえ、海外主要国での金融引き締めによる景気減速が懸念されるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、適切な価格転嫁やコスト削減施策による収益性の改善に注力するとともに、既存事業における収

益基盤の維持・拡大を図っております。また、持続的成長と企業価値向上を果たすために、成長分野での新たな事業機会の創出による成長基盤の構築、研究機関やスタートアップ企業との連携による社会課題解決を志向した新規事業開発体制の確立に取り組んでおります。

業績につきましては、液晶ディスプレイ関連分野での急激な生産調整の影響を受けましたが、価格改定の効果や円安に伴う中国子会社売上高の為替換算額の増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。一方、利益面では、原材料価格が高騰するなかでの価格転嫁のタイムラグや顧客の生産調整に伴う工場稼働率の低下などにより、各利益とも前年同期を下回りました。

●第75期通期の見通し

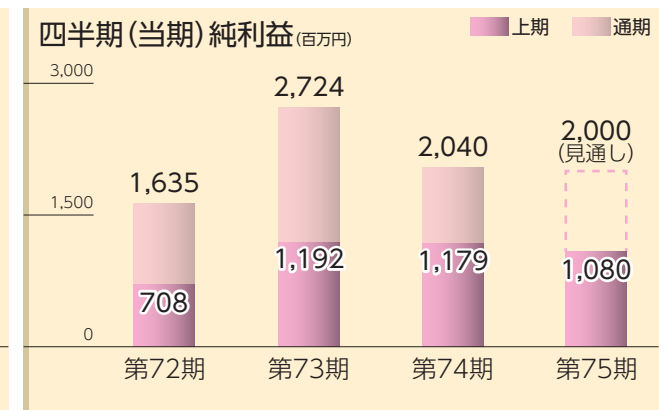
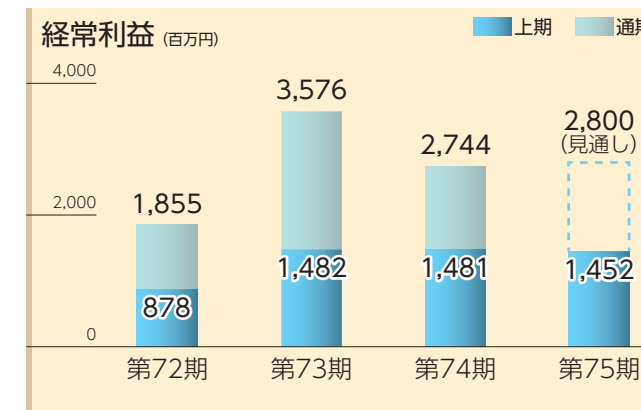
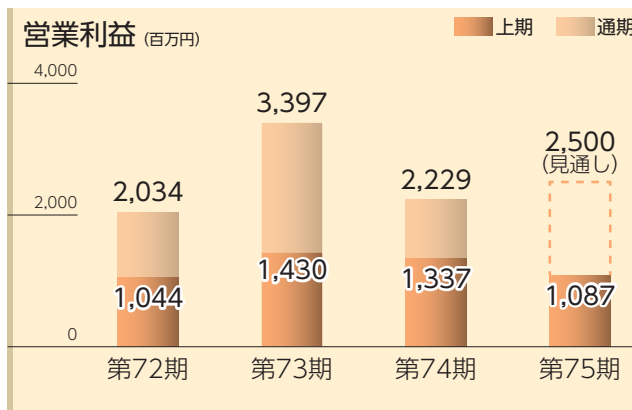
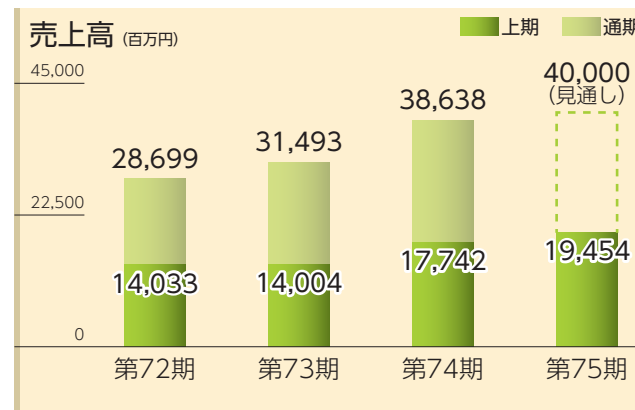
通期の業績につきましては、液晶ディスプレイ分野での生産調整の影響を受けて、粘着剤をはじめとするケミカルズの販売が想定を下回る水準にあることを踏まえ、2022年5月13日に

公表した業績予想を下方修正しております。前期から続く原材料価格の上昇に対する価格転嫁やコスト削減、円安効果などにより、売上高・営業利益は前期を上回る見通しではありますが、現下の厳しい事業環境を踏まえ、更なる収益改善に努めてまいります。

今期は、中期経営計画「New Value 2022」の最終年度であります。液晶ディスプレイ分野での短期的な需要減少により利益目標の達成は難しい状況にありますが、基本戦略として掲げた「次世代の柱となる事業領域の創出」、「継続的な新規事業の創出体制の構築」、「持続的な成長を支える経営基盤の強化」への取り組みについては着実に成果を上げており、今後も短期的な環境変化に臆することなく、中長期的な企業価値の向上と更なる成長を目指して、新たな価値創造に挑戦してまいります。

株主・投資家の皆さまには、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

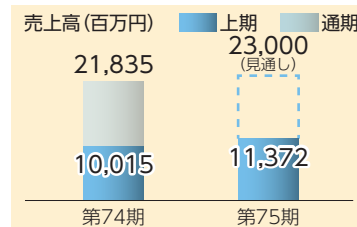


注) このレポートでは、「第2四半期累計」を上期と記載しています。

注) 四半期(当期)純利益は、「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を記載しています。

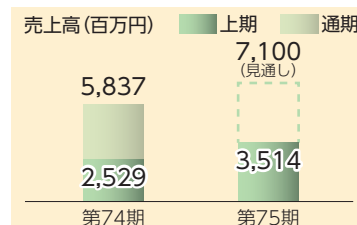
粘着剤

液晶ディスプレイ分野での生産調整により販売が想定を下回っておりますが、今後の中国市場での需要拡大を見据えた中国南京工場の生産設備増強を進め、更なるシェア拡大を図るとともに、環境配慮型製品による自動車・建材分野などでの新規顧客・用途開拓に注力してまいります。



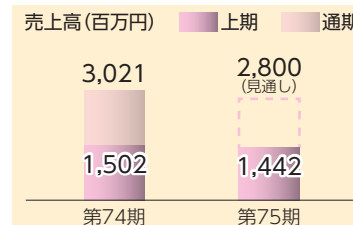
加工製品

中国市場でのスマートフォン関連の需要減少が見込まれますが、電子表示用途や自動車関連用途での販売が伸びており、更なる販売拡大に注力するとともに、情報電子機器や医療関連用途などでの新製品開発と顧客開拓に取り組んでまいります。



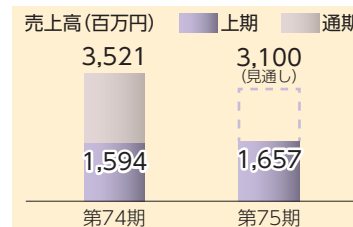
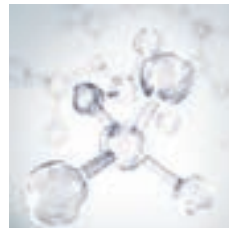
微粉体

市況低迷が続く中国光拡散用途での高シェアの維持・拡大と生産合理化に注力するとともに、情報・電子分野での新規顧客・用途開拓や中国研究開発拠点の製品開発力の強化に取り組んでまいります。



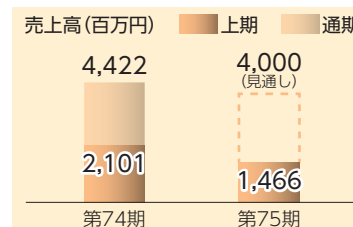
特殊機能材

中国スマートフォン市況の悪化などを受けて電子回路材料用途の需要が低調に推移しており、建材用途や電子部品用途での新規案件の早期立ち上げに注力してまいります。



装置システム

国内設備投資が回復傾向にあるなか、大型受注案件等により高水準の受注残を確保しておりますが、資材価格等の上昇が続いており、適切な価格転嫁に努めるとともに、設備診断サービスの拡充に注力してまいります。



●新規事業創出に向けた取り組み

現中期経営計画「New Value 2022」では、社会環境の変化や技術革新が進むなかで、新たな事業機会を見出し、当社グループの成長軌道を描くために、「継続的な新規事業の創出体制の構築」を基本戦略として掲げ、当社が長年にわたり培ってきた技術・ノウハウと、外部の多種多様な技術・アイデアとの融合など、自前主義からの脱却を志向した新たな事業創出プロセスの構築に取り組んでおります。

これまで、試行錯誤しながらも外部調査機関等を活用した将来有望な事業・技術領域の調査、大学・研究機関との共同研究、当社保有技術との親和性が高いスタートアップ企業の探索・連携などに取り組む、調査・企画段階ではありますが、複数の有望事業テーマを見出しております。

具体的には、医療・ヘルスケア分野における抗菌・抗ウイルス材料や診断用樹脂、環境・エネルギー分野における水資源確保や温室効果ガス削減などに役立つ次世代マテリアルの事業化を目指し、外部と連携して技術・製品開発を進めております。

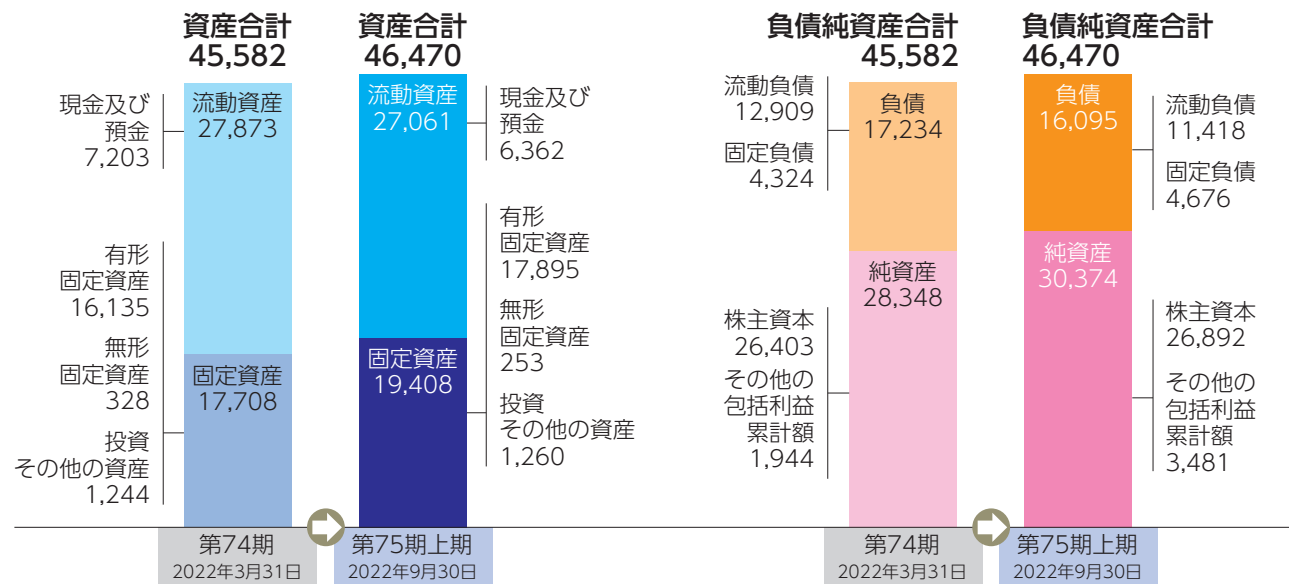
本格的な事業化に向けて解決すべき課題は多々ありますが、経営資源を積極投入し、新規事業創出への取り組みを通じて、従来の枠組みに捉われない新たな技術獲得とビジネスモデルの開発・推進体制の構築に繋げるとともに、次世代を担うイノベーション人材の育成に取り組んでまいります。

●グループ・コンプライアンス体制の強化

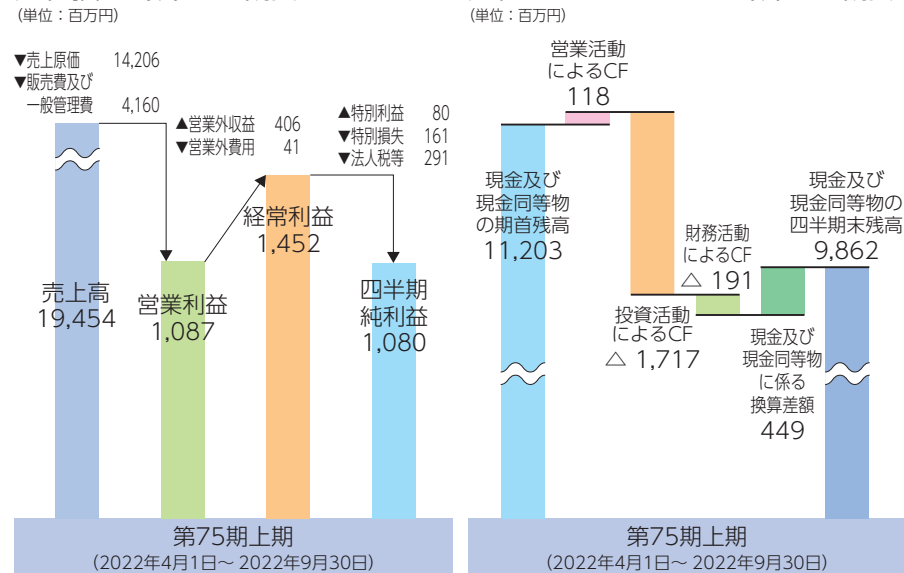
当社グループにおける海外事業の重要性が高まるなかで、事業活動の適正性および健全性を確保し、社会的信用やブランドイメージの維持・向上を果たすうえで、コンプライアンスリスクへの対応は不可欠であり、国や地域ごとに異なる法規制に適切に対処するとともに、文化や慣習、環境が異なる海外拠点の従業員への倫理綱領や行動規範の浸透を図るために、グループ・コンプライアンス体制の整備・強化を進めております。

具体的には、取締役会の諮問機関として、社外役員が委員長を務め、委員の過半数を占めるコンプライアンス委員会を新設し、独立した立場から業務執行組織におけるコンプライアンス活動を監視し、重要事項の調査・検討などを行っております。また、代表取締役社長の直轄組織として、コンプライアンス推進室を新設し、グループ各社におけるコンプライアンス活動の推進、内部通報制度の運用などを担っております。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



注) 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を記載しています。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

Check!

Point 1

① 連結貸借対照表
総資産は、中国南京工場での粘着剤生産設備の増設工事に伴う有形固定資産の増加に加え、中国子会社資産の為替換算額の増加などにより、前期末から8億87百万円増加し464億70百万円となりました。

Point 2

② キャッシュ・フロー計算書
営業キャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益と減価償却費により22億94百万円増加しましたが、原材料等の調達に係る一時的な仕入債務の減少▲18億53百万円などにより、1億18百万円となりました。

(2022年9月30日現在)

会社概要

社名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズでは、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システムでは、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 純一郎
常務取締役	滝澤 清隆
取締役	富田 幸二
取締役	岡本 秀二
取締役	蓮井 崇文
社外取締役	土屋 淳
社外取締役	神山 健次郎
社外取締役	布施木 孝叔
常勤監査役	泉浦 伸行
常勤監査役	野村 明
社外監査役	鈴木 仁志
社外監査役	安田 恵

事業所

事業所名	所在地
本社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

主要な子会社

- 綜研テクノックス株式会社
- 綜研化学（蘇州）有限公司
- 寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.
- 綜研高新材料（南京）有限公司

発行可能株式総数

33,200,000株

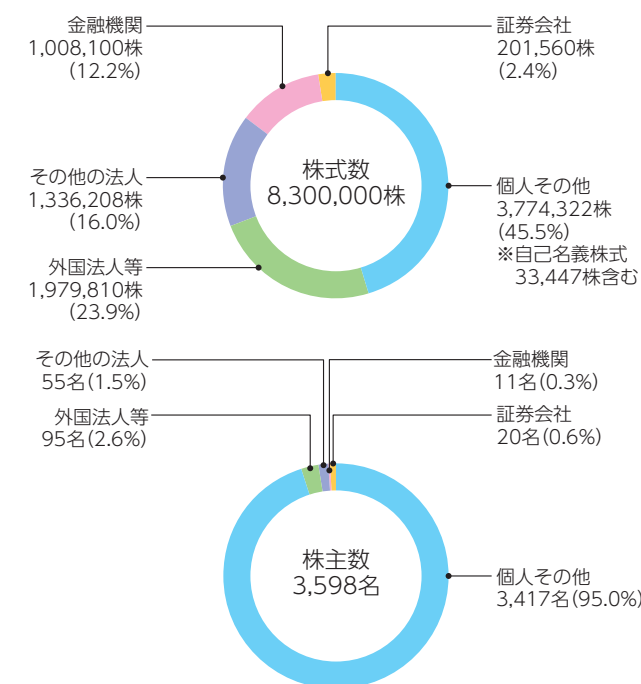
発行済株式の総数

8,300,000株

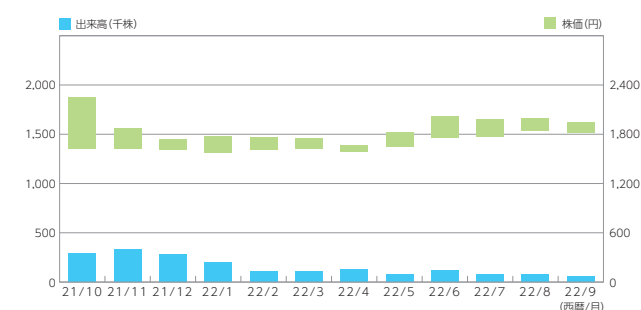
株主数

3,598名

所有者別株式分布状況



株価 (高値・安値) および株式出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金 支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載 URL: https://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。



本レポートの表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト大山口浩司さんの作品(作品名:「リスと木の実」)を使用させていただきました。

大山口浩司(おおやまぐち こうじ)

1964年生まれ。大阪府在住。

中学生の時、学校の美術の授業で油絵を習い、この時参考に見た西欧の古典絵画に感動し、継続的に絵を描くようになった。美術講師として高校や中学で教鞭をとるが、病気の悪化により退職、現在は電子書籍にてマンガも出版している。

2003年 アートビリティ登録作家となる。

2017年 AmazonのKindleから電子書籍出版。

綜研化学レポート 2022



当社グループにおけるサステナビリティを巡る課題への取り組みについて、年度毎の状況を詳しくご紹介しております。

当社ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



綜研化学株式会社

Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL: 03-3983-3171 FAX: 03-3988-9216
URL: <https://www.soken-ce.co.jp>